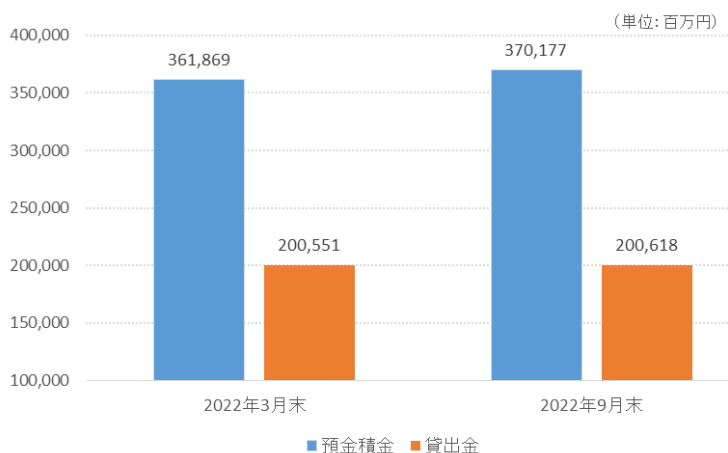


2022年9月期 奈良信用金庫の現況

預金・貸出金の状況



9月末残高は預金が3,701億円、貸出金は2,006億円となりました。地域の皆さまからお預かりした大切なお金は、地域のために役立てております。

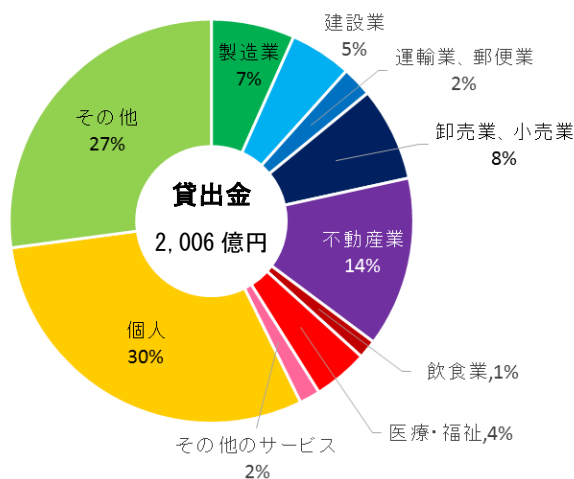
貸出金の業種別残高及び構成比

お客さまからお預かりした大切なお金は、地域の創業支援や事業活動など有効に活用しています。

(単位: 百万円)

業種区分	貸出金残高	
	2022年3月末	2022年9月末
製造業	14,015	13,379
農業、林業	14	58
漁業	1	1
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-
建設業	10,444	9,964
電気・ガス・熱供給・水道業	171	162
情報通信業	342	540
運輸業、郵便業	4,962	4,854
卸売業、小売業	15,377	15,075
金融業、保険業	1,762	1,927
不動産業	28,028	27,368
物品賃貸業	546	577
学術研究、専門・技術サービス業	642	625
宿泊業	410	399
飲食業	3,005	2,999
生活関連サービス業、娯楽業	2,250	2,218
教育、学習支援業	77	73
医療・福祉	9,534	8,776
その他のサービス	3,635	3,324
地方公共団体	44,013	47,806
個人	61,311	60,484
合計	200,551	200,618

貸出金業種別内訳(2022年9月)



損益の状況

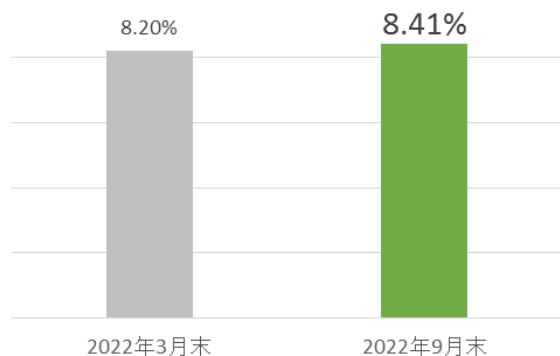
(単位: 百万円)

	2021年9月期	2022年9月期
業務純益	680	362
コア業務純益	501	696
経常利益	796	767
当期純利益	573	558

金融機関を取り巻く収益環境が厳しい中においても、本業での収益を示すコア業務純益は前年同月比194百万円増額し、696百万円となりました。

これからも、〈ならしん〉は地域のために頑張ってまいります。

自己資本比率



自己資本比率は、同年3月比0.21ポイント増加して8.41%となりました。

なお、当金庫の自己資本比率は前年度に引き続き国内基準の4%以上を維持しており、今後も健全経営に努めてまいります。

有価証券の時価情報

(単位：百万円)

満期保有目的の債券	種類	2022年3月末			2022年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は外国証券です。
3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

(単位：百万円)

その他有価証券	種類	2022年3月末			2022年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	33	32	0	27	19	8
	債券	15,316	15,252	63	8,739	8,722	17
	その他	33,023	31,502	1,520	27,446	26,072	1,373
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	333	385	△51	178	213	△35
	債券	40,674	41,176	△501	45,681	47,289	△1,607
	その他	30,510	31,831	△1,321	33,201	35,314	△2,112
合計		119,891	120,181	△289	115,275	117,632	△2,356

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

不良債権の状況

金融再生法上の不良債権は同年3月期比215百万円増加し、2,625百万円になりました。

財務の健全性を保つため、不良債権の備えは万全を期しております。

■金融再生法開示債権

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	577	545
危険債権	1,833	2,080
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
正常債権	198,711	198,579